

「公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業」の 実施に向け、太陽光パネルの設置を行っています

調布市では、公募により選定した「調布まちなか発電株式会社」と協定を締結し、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業の実施に向け、平成26年1月27日から公共施設の屋上等に太陽光発電設備の設置を開始しており、平成26年4月末までには対象全施設の施工が完了する見込みです。

なお、準備の整った施設については、平成26年4月から順次、発電（売電）を開始する予定です。

【本事業における市や市域のメリット】

（「調布まちなか発電株式会社」の公募時の提案内容から抜粋）

1. 市は停電時に、当該施設の太陽光発電設備により発電された電力を無償で使用可能
2. 公共施設の電力使用量削減、地球温暖化対策として、当該施設の電力の見える化事業を実施予定
3. 当該施設の発電状況を表示できるモニターを設置予定
4. エネルギー施策の調査費等や市の環境保全を目的とした、緑の保全基金や地球環境保全基金への寄附を予定
5. 再生可能エネルギーの普及・促進に係るセミナー、ワークショップを年2回程度開催予定
6. 平成27年度を目標に、再生可能エネルギー等に係る技術的、資金的内容を相談できる組織等の設置を予定
7. 平成36年度を目標に、市民参加・情報交換のスペースを提供予定
8. 平成28年度から本事業に係る資金調達を市民ファンドにより行う予定
（注）8については、事業収支状況を鑑み、実施しない場合があります。

【市民参加】

「調布まちなか発電株式会社」は、「一般社団法人調布未来（あす）のエネルギー協議会」が設立母体となった非営利型の事業会社です。

また、本協議会は環境省が実施する「平成24年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務」に市内環境関連事業者が採択されたことを契機に、再生可能エネルギーを普及・促進するため、設立されました。本協議会には、市民、市内事業者等が参加しています。

なお、【本事業における市や市域のメリット】に記載の予定事業は、本協議会を通じ、市民参加の機会を設けながら検討・推進していく予定です。



山野市営住宅 A 棟



山野市営住宅 B 棟

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

- 発行：調布市環境部環境政策課
- 連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550
メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ左下からリンクしています）。

2014年3月
第19・20号
合併号
刊行物登録番号
2013-276

夏に向けて壁面緑化を始めてみませんか

「緑のカーテン」「グリーンカーテン」などとも言われる壁面緑化は、建物の外壁や窓の外側をゴーヤや朝顔などの緑で覆うことをいいます。

この壁面緑化は、夏の陽射しを建物の外側でスタレのように遮って、熱の透過を弱める働きがあります。そして、葉っぱの隙間から涼しい風を通す効果があります。



◆ご自宅で実践してみませんか◆
ゴーヤや朝顔の壁面緑化は比較的簡単にできます。



- ①苗の植え付け
苗は4～5月頃、遅くとも梅雨入り前に植えるのが良いでしょう。
- ②ネットの設置
壁に沿ってネットなどの格子状の補助資材をセットし、プランターはネットの直下に置きます。
- ③緑のカーテンの作成
ツルが伸びてきたら、ネットなどの補助資材にうまく巻きつくようにし、場合によっては横に這わせるなど、成長を手伝いながらツルの向きを整えます。
- ④収穫と種取り
暑さが本格的になったころには、大きく育ち花が咲きます。花が咲いた後には、実や種がなり、収穫も楽しめます。
- ⑤片付け
秋になり植物が枯れたら、ツルを片付けます。

【ゴーヤの種を無料配布します】

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の普及・啓発事業として市に提供されたゴーヤの種を無料で市民の皆さんに配布します。この種は4～5月がまきどきです。

夏の省エネ・節電対策として、壁面緑化をはじめてみませんか。

配布場所／環境政策課（市役所8階）
※種がなくなり次第、配布終了となります。
※6月7日開催の第42回調布市環境フェア（荒天中止）においては、ゴーヤの苗を無料配布する予定です。

詳しくは、市報5月20日号「環境月間」の記事をご覧ください。



調布市いきものフォトコンテスト2013入賞作品決定!

「調布市いきものフォトコンテスト2013～感じよう!生物多様性」の入賞作品決定!

平成25年7月20日から11月30日まで、市内の自然環境の再発見とともに生物多様性への理解を深めることを目的に「調布市いきものフォトコンテスト2013」を開催しました。コンテストには96点の応募があり、平成25年12月22日から平成26年2月22日まで、多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者の投票等により入賞者を決定しました。

なお、今年度は多摩川部門、市内部門、スマフォ部門があり、それぞれ入賞作品が決まりました。

【多摩川部門】

《多摩川自然情報館大賞》



佐々木 くみ子さん
「コゲラ」

《多摩川自然情報館賞》



岩瀬 裕之 さん
「すすきのある風景」

《特別賞・叶内拓哉賞》



小関 岩夫 さん
「いや!びっくりしたな。」

《特別賞》



今井 文彰 さん
「アユの遡上」

【市内部門】

《多摩川自然情報館大賞》



本田 清美 さん
「野川の紅葉」

《多摩川自然情報館賞》



田所 俊一 さん
「ブラックオパールが飛ぶ」

《叶内拓哉賞》



田所 俊一 さん
「一休み」

《特別賞》



千田 美悠 さん
「カワイイ カワセミ」

【スマフォ部門】

《作品・コメント賞》



藤山 康太 さん
「すすきがカッコいい」
『ただのすすき』

《作品・コメント賞・叶内拓哉賞》



藤島 弘美 さん
「産まれたよ〜(〜;)」
『朝、犬の散歩で見つけました!』

《作品賞》



田高 紘志 さん
「コクチバスだ!!」
『魚とりをしていたら、コクチバスに遭遇』

《コメント賞》



浜田 麻威子 さん
「広場に生える白い(?)花」
『食べられそう?』

多摩川クリーン作戦を開催します

多くの皆様のご協力により、多摩川クリーン作戦も通算で第68回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川環境を守り、美化を推進するため多摩川クリーン作戦にご参加ください。

日時/4月13日(日) 午前8時~午前9時
(小雨決行)

集合場所/

団体参加:多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示)

個人参加:京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)

持ち物/軍手



春の多摩川クリーン作戦

※動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

雨水浸透ます設置にご協力ください

雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいをとおして集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水道に流していた雨水を地中に浸透させることにより、ゲリラ豪雨等の大雨時の浸水被害を軽減するとともに、湧水の復活、保全につながります。市内には、26か所の湧水が確認されています(平成23年度調査)。

しかし、都市化に伴い湧水は減少していく傾向にあります。植物や魚などの生き物の生息環境を守るためにも、雨水浸透ますの設置が必要です。

費用は全額市が負担しますので、「雨水浸透ます」

の設置にご協力いただける方は、環境政策課までご連絡ください。

対象/市内の既存住宅
及び個人所有の
共同住宅

協力/調布管工土木事
業協同組合

申込み・問合せ/
環境政策課 481-7086



飼い犬の登録はお済みですか

狂犬病予防法により、飼い犬には生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。犬の登録は、環境政策課(市役所8階)で受付けます。鑑札をお渡ししますので、飼い犬に着けてください。手数料は、3,000円です。

また、市外から転入した場合や、調布市以外で登録済みの場合は、その犬の鑑札を持参すれば登録手数料はかかりません(紛失した場合は、再交付手数料1,600円がかかります)。

狂犬病の予防注射は、原則として4月から6月末までに行うことになっています。

※未登録や鑑札を着けていない、予防注射を受けさせない、または市が交付する「注射済票」を飼い犬に着けていない場合は、法律により20万円以下の罰金に処せられます。

問合せ/環境政策課電話 481-7087



▲ 鑑札



▲ 注射済票

調布こどもエコクラブ・環境モニターの活動

市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しています。今年度は川の水質をテーマに活動しており、42人の子どもたちが会員として登録しています。

環境モニターは、多摩川の植物を中心とした継続観察と記録によって調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていこうという活動です。今年度は、これまでの環境モニター活動の中で観察された、調布の多摩川を代表すると考えられる植物の一覧などを整理して、ホームページなどで公開できるように活動しています。

今回は両者の合同イベントとして、多摩川河川敷でのバードウォッチングを行いました。

子どもエコクラブ第7回 環境モニター 第5回 バードウォッチング

1月11日に、京王相模原線鉄橋そばの多摩川河川敷で、こどもエコクラブ参加者15名(子どもたち6名、保護者など9名)と環境モニター参加者(3名)、計18名でバードウォッチングを行いました。

講師の指導のもと、双眼鏡やフィールドスコープの使い方を学んだ後、水辺に集まる鳥たちを観察しました。

この日は河川工事の影響もあってか、通常よく見られるカモ類が少なく、観察できた種数は例年よりも少なめの結果となりました。

<観察した鳥類>

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ、アオサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ノスリ、セグロセキレイ、スズメ、ハシボソガラス(計12種)



活動の様子



観察したサギ類

ちょうふ水辺の楽校の活動

1月18日に、今年度第4回目となる調布水辺の楽校のイベント「チャレンジバードウォッチング」が実施されました。

参加したのは、23人の流域7小学校の子どもたちと保護者16人で、多摩川河川敷において、川にやってくる野鳥の観察を行いました。

当日は、講師の話が全員が良く聞くことができ、鳥もコサギ、オオバン、セグロカモメなど近くでじっくり観察でき、中身の濃い観察ができました。

【当日観察できた鳥類】

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オオバン、コサギ、アオサギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ドバト、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、タヒバリ、ホオジロ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシボソカラス、スズメ、以上23種



活動の様子

雑木林塾の活動

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹林の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。この雑木林塾は、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

今年度は、初級講座である「雑木林ボランティア講座」を前期3回と後期2回に分けて実施します。

また、中級講座も1回実施することとし、初級前期、初級後期、中級それぞれ会員を募集し、7月までに初級前期講座を3回実施し、10月から

後期の講座を2回実施しました。また、1月に中級講座を1回実施しました。

中級講座 粗朶垣による落葉溜め・バイオスタック

中級講座は、雑木林の保全活動で一番手を焼くシュロの除去方法について学習しました。今後の活動に役立つ技術を共有することができました。



中級講座 活動の様子

環境学習交流会イベント

日ごろから、環境関連の様々な活動をしている市内の団体や事業者、個人の合計47人が一堂に集まり、各団体等の交流をはかることを目的とした平成25年度環境学習交流会「私から始めるエコライフ・明日の環境とエネルギー」を、ちょうふ環境市民会議のメンバー運営のもと、2月16日に文化会館たづくり8階映像シアターで開催しました。

当日は、調布未来のエネルギー協議会の小峰充史氏を講師に迎え、同協議会で検討を進めた屋根貸し事業や市内のエネルギー事情などを紹介して

いただきました。

その後、文化会館たづくり2階北ギャラリーで実施した、活動グループ紹介展と交流カフェでは、参加者がテーブルを囲み、講演の感想を話したり、今後の活動につなげるためのアイデアなど、意見交換を行いました。



当日の様子

深大寺・佐須地域風景写真コンテストの入賞作品決定!

平成25年11月5日から平成26年1月10日まで、様々な環境資源に恵まれた深大寺・佐須地域で見られる、自然豊かな風景、農の風景、歴史的な資源や生き生きとした風景など、記憶に残したいと思われる風景を収めた写真を募集しまし

た。応募いただいた42作品について、2月2日に市民プラザあくろすで実施した「深大寺・佐須地域の農を活用したまちづくりシンポジウム」での来場者等の投票により、次の5作品が入賞しました。



作品名「夏に向かって」



作品名
「佐須用水と案山子と天日干し」



作品名「木漏れ日」



作品名「倒れそう！」



作品名「冬囲」